

ゆうかり放送委員会提供

# ゆうかりに乾杯

第13回放送の概要 (2010年1月30日放送)

## パーソナリティ

さくら (安本久美子)  
タロウ (佃 由晃)  
なかちゃん (中嶋邦弘)

## コアアさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



## ミキサー

門ちゃん (門田成延)  
一ノ瀬 悟

## 相談役

わだかん (和田幹司)

## 会計

小山俊則

当時の正門：今日は体育祭

## 1. オープニング

本日は放送スタッフ4人の内3人がお休みですが、ベテランのわだかんさんがいるので安心しています。1月12日のハイチの大地震はM7の直下型で、阪神大震災と同じ都市を襲った地震である。すでに十数万人の方が亡くなられ更に拡大が懸念されている。FMわいわいは世界コミュニティラジオ放送連盟 (AMARC) 日本協議会に加盟しているが、連盟からハイチに乗り込み活動を開始している。災害時ローカルFM放送は極めて重要で、ハイチもラジオが盛んで全滅した放送局の立ち上げのため、調査し、放送できるよう、聴けるよう活動をしている。今後色々な支援が必要と思われるので協力する必要があると考える。

## 2. ゲストコーナー：兵庫高校卒業生 (49 陽会) 6名によるフリートーク

(1) 兵庫高校49回卒業生の和田 (3年1組)、小山 (3年2組)、吉村 (3年3組)、門田 (3年10組)、一ノ瀬 (3年8組)、佃 (3年10組) の6名による高校生活についてのフリートークを始めます。卒業時の資料によると皆勤賞は55名、精勤賞は64名となっている。わだかんさんが皆勤賞、吉村、佃が精勤賞で真面目だったことがよくわかる。しかし学校には来ていたが授業は休んでいたのかもしれない。代返がはやっていたが人数を数える先生がおり2回出席をとられた。和田は名前を呼ばれるのが最後に近いので遅刻を助かったことが多々あった。イダテンという先生がいたが怒ったりすることはなくとてもいい先生だった。東大卒の数学担当であったが天文学をやっていたのでイダテンという名前がついた。また走りが早いという意味もあった。御旅商店街の蕎麦屋に食べに行ったときイダテンに偶然あった。卒業後40年もたっているのに吉村君と名前を呼ばれびっくりした。名前を覚えるのが自分の仕事だといわれた。教え子の名前と顔は皆覚えていとも言われた。小山は45周年の同窓会で先生のところを私を覚えていますかと聞いたとき、貴方は40何年前なので覚えていないといわれた。1年の2学期実力考査で数学0点をとった。次の試験も0点であった。自分だけでなく周りも0点であったので先生の事は忘れられない。

(2) 他にもあだ名のついた先生が多かった。数学のキャッキヤ、竹博士と言われた生物の室井先生はバケツをもって立っておけとか、よく怒っていた。夏休みの宿題で植物を採ってくるというのがあった。校庭の雑草を採っていくと先生は今までそのような生徒を良く知っていて、場所まですぐに見破られた。森林植物園から採ってきた者に対して、このあたりでは採れるものでないとすぐに見破られた。今も現役で最近叙勲を受けられたペンギンさん、ファッションという先生もいた。ペンギン先生の試験中、秀才の解答を丸写ししていた。60点以上で国立大合格という

難しい問題であった。そんな問題に秀才と同じ 60 点を何人かがとったので試験のやり直しになってしまった。わだかんは野球部の者に見せてやったが、後で間違っていたので見せてくれるなどいわれた。音楽の南山先生、とてもいい声であった。課題曲で菩提樹を歌えと言われた。

夢の台高校にフォークダンスをするために行ったことがある。体育祭で男性が足りないからと聞いたため、十何人で塀を乗り越え行ったがダンスはさせてもらえず大騒ぎになり逃げ帰った。学校には抗議が入っていたが何も言われなかった。修学旅行は夜行列車のため向かい合った椅子の間に板を敷いていた。男女クラスは男子クラスにはない楽しさがあった。男子クラスではこっそり酒を持ってきた者がおり、男になった気がし、初めてアルコールを口にした年であった。先生がアルコールを持ってきたものは出しなさいと言ったが誰も出さなかった。K君は赤玉ポートワインを隠してちびちび飲んでいたら顔に出ていたのでチョンバレであったが隠していた。村上先生であったが怒られなかった。でも教室では枕を並べて討ち死にやなどよく言われた。N君は岩波ではなくコンサイスの辞書を持っていたので、これは出来る子が持つ辞書と言われ、ぼろくそに怒られていた。一ノ瀬、佃は生徒会活動をしていたが功労賞は対象外であった。体育祭では最後にフォークダンスがあったが女子が少なく当たるのは男ばかりで面白くなかった。女子と当たる寸前で止まることがあった。どうしてこんなに運が悪いのかとずっと尾をひいた。有名な棒倒しでは 3 年生に勝つために村上、松原先生指導の戦術を駆使、前衛が 3 年生を 2 分し完全勝利した。今は棒倒しは危ないということになってきているようだ。神戸高校との野球やラグビーの定期戦があった。確か野球は 1 年生のときは勝っていたがその後は負けていた記憶がある。勤めているときも神戸高校出身と聞くと敵かという気持ちがかすぐに出てきた。老人大学でも神戸高校出身者と聞くと当時はどうでしたかねという話になる。ラグビーの応援では神戸高校の選手に対し、人格を疑われるようなヤジを飛ばしていた。選手であった門ちゃんの時は 40 対 0 で勝っていた。ラグビーのほか門田、一ノ瀬は放送委員会で活動していた。和田は 3 日間だけ生物部に所属した。水槽洗いばかりさせられたのがやめた理由である。吉村はハンドボール部で 3 年担任の藤原先生が部長だったので辞められなかった。小山はサッカーをかじっていた。当時は今ではないと思われる風紀委員会、清掃委員会があった。朝塀を乗り越え酒の匂いをぷんぷんさせながら学校に来る先生もいた。先生も生徒も楽しくやっていた。卒業間際生徒が髪を伸ばすと先生がバリカンを持って追い掛け回していた。今では大変なことになると思われる。M先生には廊下に並ばされ殴られた。

### 3. 来月の予定

ゲストは母子生活支援施設ライオンファミリーホーム施設長の大東千鶴代さんで、仕事の内容、今の課題などについてお話を伺う。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで : [buyou49@nifmail.jp](mailto:buyou49@nifmail.jp)